

神戸大学経済経営研究所 公開シンポジウム
社会システムイノベーションセンター共催

海賊の選択 出光佐三の企業家精神

日時 平成29年1月23日(月)
14:30~17:30

会場 神戸大学 出光佐三記念六甲台講堂
(神戸市灘区六甲台町2-1)

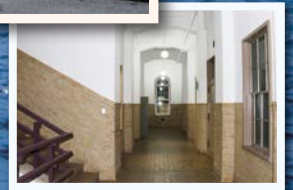


神戸高商在学中の出光佐三

映画「海賊とよばれた男」は、出光興産創業者の出光佐三がモデルです。佐三は神戸高等商業学校を1909年(明治42年)に卒業し、その10年後の1919年(大正8年)に、神戸大学経済経営研究所は神戸高等商業学校・商業研究所として創設されました。2019年(平成31年)に創立100周年を迎える当研究所では、「海賊とよばれた男」の撮影も行われ、学内で保管されている神戸高商時代の資料を中心に、佐三の研究も進めてきました。本シンポジウムでは、最新の資料研究に基づき、「出光佐三の企業家精神」の源流に脚光を当てます。シンポジウム当日は、「海賊とよばれた男」の撮影場所を公開し、映画「日本のいちばん長い日」(2015年(平成27年))の撮影にも使われた経済経営研究所・記念室において、「出光佐三特別展示会」を開催します。



「海賊とよばれた男」
撮影風景(兼松記念館前)



兼松記念館

シンポジウム当日は、撮影現場の公開と、出光佐三に関する特別展示会を開催します。



【最寄り駅から】阪神御影駅・JR六甲道駅・阪急六甲駅から神戸市バス36系統「鶴甲団地行」または「鶴甲2丁目止まり行き」乗車、「神大正門前」バス下車
【新神戸駅より】タクシーにて約15分
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

Program

- 14:30 ■ 開会あいさつ 泉水 文雄(神戸大学社会システムイノベーションセンター長・教授)
- 14:40 ■ 神戸大学のロケ地紹介 松下 麻理(神戸フィルムオフィス・代表)
- 15:00 ■ 神戸大学史にみる出光佐三の熱き活躍
野邑 理栄子(神戸大学附属図書館大学文書史料室・室長補佐/特命専門員)
- 15:30 ■ 出光佐三の理念と神戸高等商業学校の教育 井上 真由美(高崎経済大学・准教授)
- 16:00(休憩).....
- 16:10 ■ 丁稚かサラリーマンか:青年・出光佐三の選択
石堂 詩乃(神戸大学経済経営研究所・技術補佐員)
- 16:40 ■ パネルディスカッション 会:加護野 忠男(神戸大学・名誉教授[経営学研究科])
パネリスト:野邑 理栄子、井上 真由美、石堂 詩乃
- 17:20 ■ 閉会あいさつ 上東 貴志(神戸大学経済経営研究所長・教授)

〈司会・進行〉朝山 くみ

フリーアナウンサー。平成11年神戸大学経済学部卒業。名古屋の東海テレビに就職し、報道番組の司会やスポーツ中継のリポーターなど幅広く経験。出身の関西に戻り、フリーアナウンサーとして活動を始め、NHK大阪「ウィークエンド関西」のメインキャスターを4年間務めた。現在は4歳と0歳の女の子の子育てに奮闘中。

お申し込み方法

以下の窓口まで、①E-mail、②郵便葉書、③FAXのいずれかにて、氏名、所属・役職(なしでも結構です)、住所、電話番号をお寄せ下さい。お申し込みを受理させて頂いた方には、開催3日前までに受講証をお送りしますので、当日ご持参下さい。
※お申し込みの受付は受講証の発送をもって代えさせていただきます。

お申し込み窓口

神戸大学経済経営研究所 公開シンポジウム担当
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
E-mail: sympo@rieb.kobe-u.ac.jp FAX: 078-803-7059
※お電話でのお申し込み、お問い合わせはご遠慮下さい。

定員/先着500名(定員に達し次第締切ります)
受講料/無料

- 【主催】 神戸大学経済経営研究所
- 【共催】 神戸大学社会システムイノベーションセンター
- 【後援】 ひょうご神戸プラットフォーム協議会
- 【協力】 神戸大学附属図書館大学文書史料室